

様式第8（第22条関係）

平成28年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

28産技第04040003号

平成29年6月23日

近畿経済産業局長 池 森 啓 雄 様

住 所 和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地

氏 名 和歌山県知事 仁 坂 吉 伸

（商工観光労働部 産業技術政策課）

平成28年4月27日付け20160405近畿第17号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について電源立地地域対策交付金交付規則第22条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

- （注）（1）別紙は次の事業評価総括表及び事業評価個表の様式によること。  
（2）用紙の大きさは、日本工業規格に定めるA4とし、横位置とすること。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	消防庁舎内部改修工事	新宮市	4,400,000	4,400,000	総事業費 14,273,504

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	消防庁舎内部改修工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		新宮市	
交付金事業実施場所		新宮市新宮地内	
交付金事業の概要		昭和53年度に建設された消防庁舎の仮眠室を個室に改修し、当直隊員の勤務環境等の改善を図ります。	
総事業費	14,273,504	交付金充当額	4,400,000
		うち文部科学省分	0
		うち経済産業省分	4,400,000
交付金事業の成果目標	<p>本消防庁舎は、昭和54年3月に建設され、現在、当直隊員の仮眠室は仕切りのない大部屋となっており、インフルエンザ等感染症対策の一つとして、当直隊員の勤務環境を改善する必要があります。</p> <p>インフルエンザ等の感染症が流行した場合には消防需要の大幅な拡大が予想され、救急活動をはじめ消防業務を適正に継続し、災害時等の社会機能を維持するためにも、消防職員の確保が重要となります。</p> <p>今回、消防庁舎の仮眠室を個室に改修することで、当直隊員の勤務環境を改善し、消防体制の適正維持と消防活動の効率化を図り、ひいては、市民の安全・安心の確保に寄与することを目的とします。</p>		
交付金事業の成果指標	<p>消防庁舎の仮眠室を個室に改修することにより、消防職員の勤務環境を改善し、ローテーションに影響を与えることなく、消防体制の適正維持を図ります。よって、現状の稼働率100%の維持を目標とします。</p>		
交付金事業の成果及び評価	<p>本事業により、仮眠室が旧来の仕切りがない大部屋から個室化が図られ、消防職員の稼働率を保ったまま、インフルエンザなどの感染症対策を実施し当直隊員の勤務環境を改善することが出来ました。</p> <p>これにより、消防体制の適正維持と消防活動の効率化が図られ、地域住民の安全・安心な生活に寄与しています。</p>		

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
消防庁舎内部改修工事	条件付一般競争入札	株式会社 雅建設	12,417,416
消防庁舎内部改修工事工事監理手数料	随意契約	建築士 1名	399,600
消防庁舎内部改修工事図面作成手数料	随意契約	建築士 1名	498,960
物品購入	随意契約	有限会社 須川家具	594,000
物品購入	随意契約	株式会社 タイコー	363,528
計			14,273,504
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	該当なし

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。